



市長とランチミーティング 45

石垣牛の増頭への取り組みについて

第45回「市長とランチミーティング」は3月26日(水)に「JA石垣牛肥育部会」の皆さんと行われました。

中山市長

今日は市長とランチミーティングに参加いただきありがとうございます。今回は2期目当選後初めてのランチミーティングという事で早速、JA石垣牛肥育部会の皆様の手を上げていただき感謝申し上げます。日頃から皆様には石垣市の畜産の発展に大きく貢献して頂いております。

4月には新しい八重山食肉センターもオープンしますので、これからの石垣市の畜産に大きな夢を抱いて全世界に向けて八重山の畜産の魅力を発信していきたいと考えていますので、今日は皆様と有意義な時間を過ごせればと思っています。

仲大盛 部会長

新空港開港後、観光客が増加し石垣牛もかなり消費して食べてもらっている中で、昨年の暮れあたりから石垣牛が足りないという状況が長く続きました。現在はだいぶ落ち着いてきており、今後頭数を増やしていくと色々計画をしているところです。

今、八重山の畜産を取り巻く環境が様々な面で整いつつあります。4月に完成する新しい食肉センターのオープンや新空港が開

幸い子牛が高値で売れているので自己資金で資材を購入して肥育用の牛舎を個人でコソコソと作っているのですが、なかなか資材を購入する資金が不足して前に進まないで、建築資材への補助金で資金繰りをサポートしていただけると非常に助かります。

仲大盛 部会長

現在、増頭計画に対してネックになっているのが牛舎の数なのです。大きな施設をもっている農家は子牛もセリで出しながら、肥育牛も育てています。しかし、大多数が肥育できる牛舎が足りないため増頭に取り組めないのです。牛はいるので増そうと思えば増やせるのですが肥育できる場所がないということと計画がなかなか前に進まないという状況です。

ですから牛舎を増やせる環境を整えばすぐにでも増頭ができるという事です。

岩下 農林水産部長

現在、部内で議論しているのは正に今みなさんからお話のあった繁殖から肥育に転換するところかどうか石垣市の畜産農家の皆さんを支援できるのかを議論していま



港して1年、順調に観光客数が増えている石垣牛を食べてもらっている。そういった環境の中でどうやって石垣牛の頭数を増やしていかないといけないという事で市長をはじめ、市役所の皆さんと様々な意見交換が出来ればと考えていますのでよろしくお願ひします。

石垣牛増頭に向けた取り組みについて

仲大盛 部会長

石垣牛を増頭しようとなると、長い期間牛舎で肥育しなければいけません。

出荷するまでに平均で生後30か

す。今回皆さんから頂いた貴重な現場の声を参考に今後、議論を進めていきたいと思います。

繁殖から肥育へ転換という切り口で一括交付金を活用できないかなど色々検討していきたいと思っています。



石垣牛販促イベントの継続開催について

仲大盛 部会長

石垣牛の島内での販促イベントとしては引き続き今後も石垣島マラソンとのコラボレーションでイベントを打っていくという形で継続をお願いします。今年の石垣島マラソンと一緒に石垣牛まつりは市民やマラソン参加者に好評でし

月、約2年半は牛舎で過ごすため、回転が悪いんです。子牛ならセリにかけると10か月です。から、どんどん回転できますが肥育牛となるとどうしても時間がかります。ですから肥育牛を増やすためには牛舎が必要になりますので、現在の牛舎の他に牛舎をもつと増やさないと増頭ができませんという状況です。

増頭に向けて動き出している方も数名ありますが、牛舎の増築に対して行政の方からも何らかの形でサポートして頂けないかと考えています。

部会員

出荷頭数でいうと昨年560頭、今年は660頭に増やし、さらに来年は700頭台を確保できそうなのですが、このあたりが規模的に限界かなと思っています。部会とJAでは近い将来、千頭規模の出荷頭数にしたいと考えています。そのためには新築の牛舎が必要になります。もちろん費用がだいぶかかりますので行政のサポートやアイデアをお貸し頂ければと考えています。

畜産課 課長

以前から石垣牛の増頭は課題と

たので是非、次回も石垣牛の販促イベントとマラソンをセットで開催して頂けると嬉しいです。私たちも石垣市のイベント等にも積極的に協力していきたいと思っていますのでお互い連携を取りながら様々な場面で石垣牛を宣伝していければと思っています。

中山市長

そうですね、今のところ石垣牛まつりは毎年開催していきたいと思っています。今回のように石垣島マラソンと一緒に開催した方が、島外からきた参加者も楽しめるのでいいのではかと考えています。

部会員

是非、市役所前の通りを通行止めにして、焼き台を並べてもう一度ギネスに挑戦するのも面白いかもしれませんね。

中山市長

今日は現場の貴重な声を聞かせて頂きましたので、担当課の職員と石垣牛の増頭にむけての取り組みを早速に行いたいと思います。また、引き続き石垣牛のPRも継続しておこなっていく多くの方に食べていただけるよう、観光の目玉にできるようにしていきます。観光客も100万人近く訪れるようになり、観光で石垣にきた方た

して話し合われてきています。様々な補助メニューがありますが課題も多くなかなか浸透していないのが現状です。

部会員

県とか国の補助事業ではなくて石垣市単独で補助できる仕組みはありませんか？

石垣牛の頭数を増やすには早急に解決しなければいけない課題ですので、できれば今年度中には何とか突破口を見つけ出したいと思っています。千頭を目標にしている3年後を見据えると今動かないと絶対に間に合いません。



ちも石垣にきたからには石垣牛を食べて帰ろうという気持ちになっていっていると思いますので、それに見合うだけの頭数を準備しておかなければならないと思いますのでお互いに頑張っていきましょう。

